



目 次

新年のご挨拶	（小椋一生）	1
研究の成果	スイートピー新品種「ピュアクリーム」の育成経過と特性	2
	実エンドウ「きしゅうすい」の品質不良莢の発生要因の解明	3
	冬季における LA ハイブリッドユリの適品種選定	5
トピックス	スターチスの低コスト省力的培養苗生産技術をバイオセンター中津と共同開発	6
	（古屋挙幸）	



暖地園芸センターが育成したスイートピーの新品種「ピュアクリーム」（本文2頁）

新年のご挨拶

暖地園芸センター所長 小椋一生

謹んで新年のお慶びを申し上げます。日頃より暖地園芸センターの試験研究推進にご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

当センターでは、収益性の高い園芸の振興をめざし、スターチスやスイートピー、実エンドウなど地域特産野菜・花きのオリジナル品種の育成や生産性向上技術開発、切花の鮮度保持技術開発等に取り組んでいます。

昨年、オリジナル品種の育成については、スイートピー「ピュアクリーム」を品種登録出願し、スターチスでは赤紫系統と白色系統の2品種を育成しており、間もなく出願予定となっています。

また、スターチスオリジナル品種の産地展

開を図るため、「省力・低コスト培養苗生産」の研究を行い、その培養苗の供給体制の整備に関係機関と共に取り組んで参りました。

昨今の原油価格の高騰の中で、生産・流通コストが上昇し、農業経営は厳しい環境にあります。今後とも生産現場に役立つ試験研究に取り組んで参りたいと考えています。

試験研究の成果は、「育成した品種や開発した技術が生産現場で広く活用され、どれだけ普及したか」にあります。生産者に利益をもたらし、地域が活性化してこそ試験研究の役割が果たせるものと思います。

本年も野菜・花き園芸の振興と皆様方のご発展を祈念し、年頭のご挨拶と致します。